資料2

KAZO環境フェスタ2027の開催について

笑うかぞには福来る
加須市

令和8年10月13日
令和8年度第1回加須市ゼロカーボンシティ推進協議会
会議資料

本日の議題・協議事項

1．昨年度の課題・対応策について



・昨年度の課題に対する対応策や目標設定についてのご意見

2．イベント名称について



・テーマ拡充や新たにサブタイトルを導入することについてのご意見
・イベント名称案についてのご意見・アイデア

3．企画内容について



・新企画のスタンプラリーについてのご意見
・企画全体についてのご意見・アイデア

4．周知・広報への協力について



・各構成団体での本イベントの告知協力のお願い
・本イベントの主催・共催に並ぶ協力として、協議会名称の使用についてのご承認（昨年度に引き続き）

開催目的とメインターゲット層

開催目的

「環境意識の醸成と具体的行動への誘導」



本市が目指す「ゼロカーボンシティ」
及び「ネイチャーポジティブ」の実現に向け、
次世代を担うこどもたちをはじめとする
市民一人ひとりが環境問題を「自分ごと」として捉え、
自発的に行動変容するよう促すことを目的とします。

メインターゲット層

「小学生とその保護者（ファミリー層）」



昨年度の開催に引き続き、
次世代を担うこどもたちとその家庭を
メインターゲットとし、環境問題を自分ごと
として捉え、家庭内で環境行動を実践する
きっかけをつくります。

イベントのねらい：「環境」をもっと身近に

難しさから「楽しさ」へ



環境問題はこどもたちにとって
「難しい」「自分には関係ない」と感じられがちです。
本イベントでは、知識の学習にとどまらず、
見る・触る・探す・遊ぶ体験を通して
こどもたちの「知りたい！」を引き出します。

「自分ごと」の気づきをつくる



自分の手や体を使った体験を通して、
「地球のために自分ができることがある！」
という前向きな発見を生み出します。
体験から得た感動が、未来への行動に
つながるきっかけをつくります。

イベントの４つのコンセプト

１．知る・学ぶ



ゼロカーボンシティ宣言
やネイチャーポジティブ
の意義を講演やパネル展示、
小学生の活動発表などを
通して分かりやすく
周知・啓発します。

２．体験・実感する



こどもから大人まで
楽しめるサイエンスショー
やワークショップブースで、
エコな暮らしを
体験として学びます。

３．味わう・親しむ



キッチンカーの出展や
サブタイトルを添えた
親しみやすいイベント名で
幅広い世代を惹きつけます。

４．行動を起こす



表彰式や活動発表、講演、
ワークショップ、展示など
を通じて、一人ひとりが
日常で具体的な取組を
はじめるきっかけ
をつくります。

昨年度の課題と対応策

項目	昨年度の課題	今年度の対応策
開催時期	例年11月開催 市民まつりなどの他イベントと日程が重複	イベント閑散期の１月に変更 他イベントとの差別化と集客集中を図る
会場	キャパシティ不足、出展数制限 導線不良	「パストラルかぞ」での開催 広いスペースで出展スペースや導線を確保
講演集客	専門的で、講演の集客が伸び悩み	親子向けテーマやスタンプラリーでの誘導・集客強化
認知度	ゼロカーボンシティ宣言の認知不足 （来場者アンケート結果）	体験型ブースや展示の拡充で親しみやすく 周知・啓発

今年度開催の定量目標

＋４０％

目標来場者数

会場・日程変更と内容の拡充により
昨年度実績から大幅増を目指す
令和7年度：250人
令和8年度：350人
（参考　令和6年度：150人）

２倍

出展・企業団体数

テーマ拡充（ネイチャーポジティブ）
に伴い参画数を拡大
令和7年度：　6企業・団体
令和8年度：12企業・団体
（参考　令和6年度：2企業・団体）

８０％

宣言認知・理解度

来場者アンケートにおける
ゼロカーボンシティ宣言の認知理解
令和7年度：63%
令和8年度：80%

※「知っている」又は「聞いたことはあるが意味は知らない」と答えた割合

テーマの拡充

ゼロカーボン？ネイチャーポジティブ？って何だろう

ゼロカーボン

「脱炭素」



省エネ、再エネ、グリーンカーテンの普及など
地球温暖化防止に向けた
具体的な取組を提示します。

ネイチャーポジティブ

「自然再興（生物多様性の保全）」



加須市の豊かな自然環境を守り、回復させる
「ネイチャーポジティブ」を昨年度の
テーマに追加し、出展幅を広げます。

へらそうCO_2！ふやそう自然！

イベント名称と親しみやすいサブタイトルの導入

こどもから大人まで親しみやすく、ストーリー性のあるサブタイトルを導入します。

【イベント名称（案）】

KAZO環境フェスタ2027

～エコっと広がる かぞのミライ 知ろう！探そう！地球のヒミツ～

「エコっと」＝「eco（エコ）」＋「ちょこっと」



環境のことを、難しく考えすぎず、まずは“ちょこっと”やってみよう！

一人ひとりの小さな行動の積み重ねが大切です！

「エコっと」に込めた想い

eco（エコ）+ちょこっと

環境のために、いきなり完璧で
大きなことをする必要はありません。
「ちょこっと」から始めましょう。

できることから一歩

マイボトルを使う、電気を消す、
食べ残しを減らす、
身近な生き物を大切にする。
小さな一歩でOK！

未来へ広がる輪

ひとりひとりの
「ちょこっとエコっと」が
集まることで、
加須の未来が明るく大きく
広がっていきます。

できることから、ちょこっとエコっと。

その小さな一歩が、かぞのミライへひろがっていく

ストーリー性のあるサブタイトル

「知ろう！探そう！地球のヒミツ」

「環境の勉強」から入るのではなく、「ヒミツ」、「探検」、「発見」から環境に出会う仕掛けをつくります。

会場を「探検フィールド」に！

来場したこどもたちは「KAZOちきゅう探検隊」の隊員に変身！会場全体でヒミツを探します。

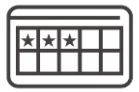
講演や体験ブースを１つのミッションとして、スタンプラリーを実施します。

○「探検カード」イメージ



こどもたちを主役にするカードのしくみ

１．受付で探検カードを配布



「探検カード」をもらってスタート！
好きなミッションから自由に
選んで体験

２．スタンプを【3つ】集める



ミッション10個中３つでクリア！
無理なく達成感を感じられるから
低学年でも安心

３．認定証をGET!



ゴールで
「KAZOちきゅう探検隊　認定証」
と記念品をプレゼント！
最後に「エコっと宣言」！

親子での参加による家庭や地域へ広がる効果

こどもが「入口」になる会話



「今日、電気つくって電車走らせたよ！」

「加須にこんな生きものがいるんだって！」

こどもの感動体験が家庭内の会話のきっかけになり、

家族の環境意識高揚にもつながります。

「わたしのエコっと宣言」を持ち帰る



イベントの最後に自分で選ぶ小さな一歩

□マイボトルを持ち歩く

□電気をこまめに消す

□ごはんを残さず食べる

など

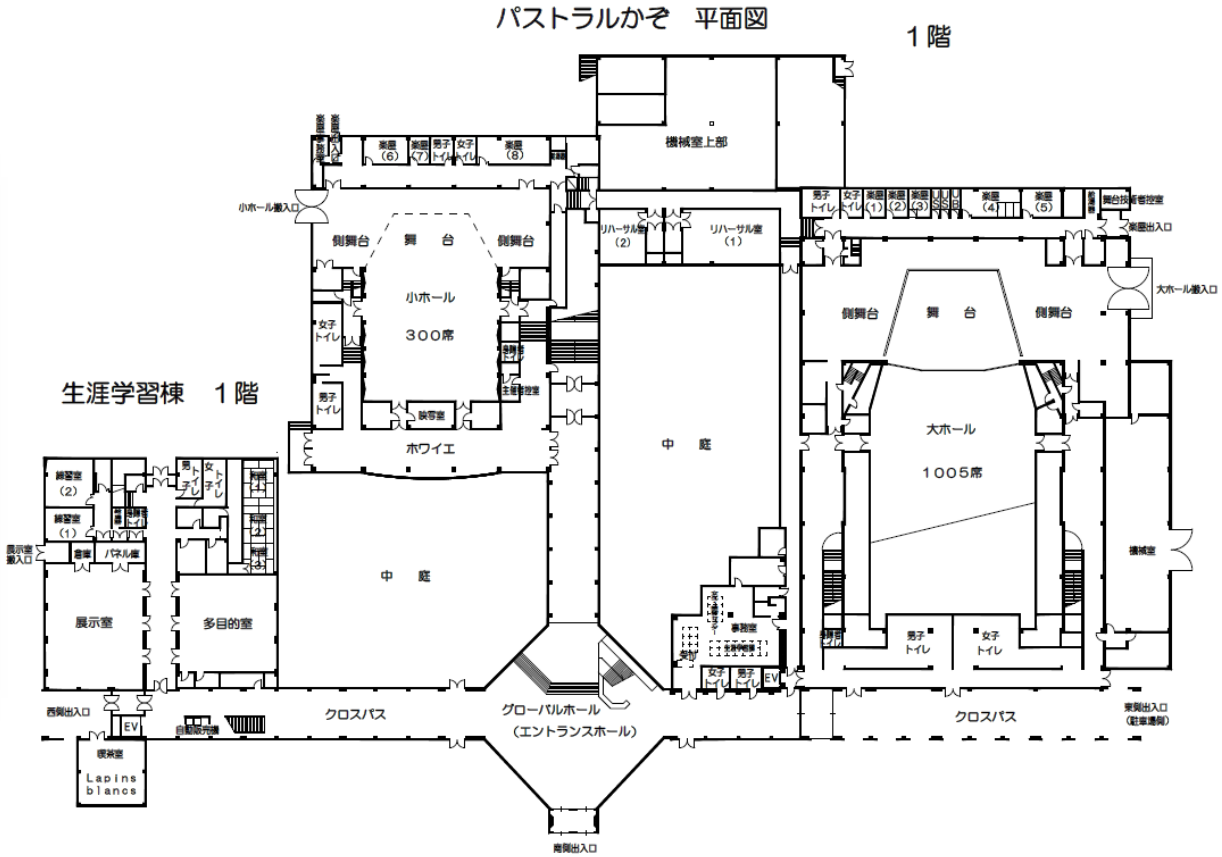
「環境を学ぶ」から「環境に出会う」イベントへ

KAZO環境フェスタ2027　企画案

日　程：令和８年１月１６日（土）１０時から１４時まで

会　場：加須文化学習センター「パストラルかぞ」（加須市上三俣2255）





会場エリア構成（３つのゾーン）

ステージ企画ゾーン

（小ホール）



「ゼロカーボン川柳及び
グリーンカーテンコンテスト」
表彰式、小学校の活動発表、
親子向け講演会、
サイエンスショーを実施

・講演会は「ネイチャーポティブ（生き物）」をテーマとする内容（調整中）
・埼玉県環境科学国際センターの研究員によるサイエンスショーを実施予定

体験ブースエリア

（多目的室、展示室、エントランスホールなど）



企業・団体、行政ブースによる
ワークショップや展示を実施

・埼玉県環境学習隊に登録のある企業や関連団体等が出展予定（調整中）
※温暖化や生物多様性、リサイクルなど幅広い分野から選定
・行政ブースは市資源リサイクル課（ミニリサイクルフェア）や市環境政策課（スタンプラリー）が出展予定

キッチンカーエリア

（屋外エリア）



キッチンカーを出店

・キッチンカー出店者を募集予定

スケジュール

10月
・講演、ブース出展の決定
・講演、出展内容の調整

11月
・ブースレイアウトの決定
・キッチンカー募集・決定
・案内チラシの作成・決定

12月
・案内チラシ配布、周知

1月
・市広報
・会場設営（前日～当日）
・イベント開催